

最近、高病原性鳥インフルエンザウイルス(H5N1)のヒトへの感染報告が止むことなく続いており、その流行が恐れられています。抗インフルエンザ剤であるオセルタミビルが、新型インフルエンザにも有効な薬剤であることからその備蓄が望まれています。

新型インフルエンザだけでなく、A型、B型インフルエンザが流行るのもこれからです。体力の劣る乳幼児や高齢者では、しばしば重症化します。自衛手段としてワクチン接種をお勧めします。既存のインフルエンザワクチンは新型のインフルエンザに対しては効果がありませんが、これまでのインフルエンザウイルスに対するワクチンの有効率は小中学生や成人では 70～80%が期待でき、乳幼児でも 50%近くの有効性が言われています。ワクチン接種と抗インフルエンザ剤による治療という二重の構えが必要です。

子どもをインフルエンザから守るには、周りの大人自身がワクチン接種し、感染しないように気をつけることが、大流行の防止に最も大切です。